

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-IV-7

4-IV-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者と地域住民との交流促進
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	7 観光イベントにおける体験型コンテンツの充実	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市地域振興課、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。	
	【事業内容】	○観光イベントで来訪者が気軽に参加できる体験型のコンテンツ(民謡流しやワークショップ等)を充実させる。	
R元事業計画と実績	【元年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●佐渡の国際観光イベント「アース・セレブレーション2019」開催に併せた自然体験と地域住民とが触れ合う体験プログラムを充実させる。 ●各スポーツイベントにあわせ地域をめぐる体験プログラムを造成する。 	
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●アース・セレブレーション2019期間内で自然を楽しめるシーカヤック、サイクリング等の体験プログラムを6種類開催。台風の影響で一部中止になったものの151名の参加があった。佐渡ロングライド及びトライアスロン大会での来訪者へ向けて前日に地域をめぐるサイクリングツアーを催行した。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■各イベントに対して体験プログラムのPRに十分な期間を設けられなかったため、イベント参加者全員への効果的な情報発信が行えなかった。(web、チラシ共に) 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■体験プログラムの準備を早い段階で行い、イベント本編の広報スケジュールと足並みを合わせて効果的な発信を行う。 	
事業評価	【事業の達成度】 [a (b) c]	◇各イベントならではの属性を持った旅行者からの参加をいただいたことにより、満足度や興味趣向に対してのデータを得ることができた。次年度以降更に精度の高い内容やPR方法を検討することができる。	
	【事業実施の効果】 [a (b) c]	また、昨年課題であった体験の集合場所までの二次交通について、迎いのバスを出すなど対応できた。	
	【総合評価】 [A (B) C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。